

小倉記念病院 循環器内科日より

つなぐ

Vol.20

2018.3月

アジア諸国において保険が整備されていない国もあり、患者は病状が進んだ状態で受診に来るケースがある。つまり、そういった地域の医師は厳しい病状を、医療が発達していない現状で行わなければならない。

当院循環器内科は、これまでに31名の外国人医師を受け入れてきた。当科には医局制度の縛りはなく、最先端の医療を勉強したいという医師に対しては、来るもの拒まずの体制で受け入れている。もちろん、外国人医師も例外ではない。

私たちも外国人医師から学ぶことが多い。それは文化や宗教も違う彼らとお互いの違いを認め尊重しあうこと。これは医師と患者の関係でも同じだ。相手を理解し、「一病」だけではなく「気」も一緒に治すのが医者であると先達から教わってきた。

現在、研修を終えた医師の病院へ治療指導に招かれるなど、国境を超えたつながりは、とぎれることはない。

当院での研修を通して、自分の国で活躍できる医師を一人でも多く送り出す。今後も私たちは、この地域から世界に医療を届けていく。

